



## 決勝レース 1 レポート

2010/11/13 JAF グランプリ 富士スプリントカップ

天候：曇り 気温：18℃ 出走台数：15台

僅か100kmのスプリントレース、まさにフォーミュラレースの魅力が凝縮されたJAFグランプリ 富士スプリントカップは、決勝レース1を迎えた。

予選でのトラブルから、デュバル選手は12番グリッド、伊沢選手は11番グリッドからのスタートとなる。

スターティンググリッドで他車の戦略を読んだチームは、デュバル選手のウィングバランスを再調整、コーナースピードとストレートスピードのバランスを変更した。

スタートは2台揃って非常によく、2台ずつオーバーテイク。さらにヘアピンカーブで1台を抜こうとしたデュバル選手であったが、前走者のブレーキングが早すぎ、それを避けるためにコースアウト、最後尾となってしまった、しかしグリッドでのセットアップ変更が功を奏したか、ペースの速いデュバル選手は即座に追いつき、ダンロップコーナーで数台をパスした瞬間、後続に追突されてスピン、リアセクションが壊れリタイヤとなってしまった。

伊沢選手は9位でオープニングラップを周回、3周目にはストレートで1台をパスし8位へ。トップ2と同じ26秒台のラップタイムで5位争いグループ3台のバトルを繰り広げる。コーナーで速い伊沢選手は前走者を執拗に追い詰めるも、メインストレートで抜くには至らない。それでも何とか1台をパスし7位に浮上し、6位を目指してプッシュするが、残り周回数も少なくそのまま7位フィニッシュでレース1を終えた。

### 1:ロイックデュバル選手 レース1 リタイヤ

非常に良い感触の予選セットアップから、さらに高速寄りにセットアップを変更してレースに臨んだ。スタートは良くて、ペースも周囲の車両では飛びぬけて良かったよ。そのせいもあってダンロップコーナーで数台をパスしようとしたんだけど、リアに他車が接触してしまいスピン、車両が壊れてリタイヤになってしまいました。

昨日・今日と、ファンの皆様に私の走りをお見せできなくて残念です。明日のスプリントレースこそは、毎週予選モードで完全燃焼しかありませんね。

### 2:伊沢拓也 選手 レース1 7位

スタートも良く、ラップタイムも安定していましたが、単独でのストレートスピードが伸びず、5位まで行きたかったのですがパスするのに時間がかかりました。明日は4番グリッドからのスタート。今日のデータをもとに、チームと明日の戦略を立て、2010シーズン最後の22周を悔いのないよう攻め抜き、表彰台で終えたいです。